



2020年度 事業報告書

2020年7月1日から 2021年6月30日まで

特定非営利活動法人国際インフラパートナーズ

1 活動方針

広く世界の人々のために、社会経済基盤施設（インフラストラクチャー）の整備・管理に関する事業等を内外の関係者と協力連携して行い、開発途上国等の国土整備・管理に協力することにより、持続可能な社会経済の発展を実現し、わが国の安全・繁栄に寄与することを目的に活動する。

上記の活動方針を実現するため、各方面との交流を深め、かつ共同活動を行うことにより効果的な活動を行うように心がけた。

① 経済技術協力事業

(イ) 2016年度に、ミャンマー連邦共和国バゴー地域チャウタガ地区イトネ・クリーク橋災害復旧工事を外務省の日本NGO連携無償資金協力により実施したことによって沈下橋の有効性が評価され、2017年度・2018年度・2019年度にマグウェー地域・サガイン地域・カイン州における沈下橋の建設と技術移転事業が採択された。2020年度にもサガイン地域とカイン州でそれぞれ1橋の建設が採択されて着手した。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため日本人スタッフは入国できなかつたが、工事は順調に進捗した。しかし2021年2月の政変によって資金を銀行から引き出して資材を入手・搬入し、作業員を雇用する流れが滞った。カイン州の1橋は雨期前に完成して盛大な開通式も行われたが、サガイン地域では雨期に入って休工のやむなきに至った。カイン州では雨季に入っても住民の往来と物資輸送が確保されるようになり、開通当初から毎日多数のトラックが通行するなど、期待以上の効果を上げている。ワークショップは1回も開催できなかつたが、サガイン地域における工事と併せて2022年5月までの契約延長が認められれば、その間に実施することとなる。

(ロ) 2019年度契約のJICA草の根協力事業パートナー型（2019・4～2021・4）を継続して実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症と政変によって現地での業務を行うことができず、国内においてミャンマー連邦共和国 労働集約型簡易舗装実施支援事業によりアスファルトコンクリート簡易舗装に加えて セメントコンクリートによる簡易舗装の実施マニュアル作成等の準備を進めた。なお、アスファルトコンクリートの施工マニュアルの作成など、いっそうの発展を目指して事業を継続・発展させるべく事業期間の延長を行った。

(ハ) 技術交流活動、相互理解等事業に引き続き取り組んでいるが、緊急事態宣言などにより、十分な活動を行うに至らなかつた。

② ウェブサイトを逐次更新して事業の広報に努めたほか、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) 開発途上国等支援のための経済技術協力等事業	(イ) 外務省の日本NGO連携無償資金協力によるサガイン地域とカイン州において2橋の沈下橋建設工事の実施	2020.9～2021.6	ミャンマーサガイン地域で1箇所、カイン州で1箇所	1,000 内日本10 ミャンマー990	業務参加者と周辺の住民、5万人以上、間接的には560万人	74,072
	(ロ) JICA草の根協力事業パートナー型「ミャンマー国労働集約型簡易舗装実施支援事業」の実施	2020.7～2021.6	ミャンマー	100 内日本20、 ミャンマー80	業務参加者と簡易舗装技術マニュアル対象地域住民、1,500万人（人口の1/4）	
(2) 同、技術交流等事業	来日技術者との交流	2020.7～2021.6	東京	2	1	39
(3) 同、相互理解・友好関係の増進事業	ウェブサイトの逐次更新、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。	2020.7～2021.6	東京	5	約10,000	0（直営）

(2) その他の事業
特になし。